

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年1月18日

計画の名称	1 災害に強い安全な都市公園づくり (防災・安全)														
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			交付対象	三原市										
計画の目標	○ 地域防災計画に位置付ける予定の都市公園を整備し、安全で安心できる都市づくりの形成を推進し、災害に脆弱な都市構造の改善を図る。 ○ 長寿命化計画の見直しを行い、利用者の安全の確保とライフサイクルコストの縮減を図る。 ○ 都市公園施設の更新を行い、公園施設の健全な維持管理を行う。														
計画の成果目標 (定量的指標)	○ 地域防災計画に位置付ける予定の都市公園を整備し、一次避難地の確保を0.0ha (H22年度) から0.2ha (H26年度) に向上する。 ○ 長寿命化計画見直し進捗率を0%から100%に上昇させる。 ○ 都市公園施設の更新進捗率を0%から4.6%に上昇させる。														
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考								
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H26末)									
①	一次避難地の面積を集計する。			0.0ha	—	0.2ha									
②	長寿命化計画の見直しを行った割合を算出する。 長寿命化計画見直し進捗率 (%) = (長寿命化計画策定済箇所数) / (長寿命化計画見直し箇所数 (89箇所))			0%	—	100%									
③	都市公園施設の更新が完了した割合を算出する。 都市公園施設更新進捗率 (%) = (更新済み施設数) / (更新予定施設数 (44施設))			0%	—	4.6%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	435百万円	A	375百万円	B	0百万円	C	60百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13.8%					
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制				事後評価 (中間評価) の実施時期											
本市の担当部局にて評価を実施				平成27年度 (事業終了後)											
				公表の方法			三原市公式ホームページにて公表								
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-4	公園	一般	三原市	直接	三原市	都市公園事業 (東本通 8号公園)	A=1.4ha, 擁壁, 園路の造成	三原市						268	
1-A-5	公園	一般	三原市	直接	三原市	三原市公園施設長寿命化計画策定事業	都市公園 N=89箇所	三原市						0	
1-A-6	公園	一般	三原市	直接	三原市	三原市公園施設長寿命化対策支援事業	都市公園 N=2箇所	三原市						107	
合計													375		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-B-1															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	公園	一般	三原市	直接	三原市	(都)東本通地区公園	東本通1, 2, 3, 4, 6, 7号公園	三原市						60	
合計													60		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	土地区画整理事業による良好な市街地の形成を図るとともに、緑と潤いのある都市空間の整備を、都市公園事業(1-A-4)と一体的に実施することにより、早期の供用開始を図り、事業の促進に資する。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 東本通8号公園の広場を整備した結果、災害時の一次避難地を一部確保することができた。 公園施設の更新を行ったことにより、利用者の安全性の確保に加え、施設の充実度が高まった。 					
II 定量的指標の達成状況	指標①（一次避難地の面積の集計）	最終目標値	0.2ha	目標値と実績値に差が出た要因	東本通8号公園は区画整理事業区域内に整備する公園であり、本公園の掘削した土は区画整理の盛土として使用しているが、盛土先の関係者協議に不測の日数を要したことにより、掘削工事に遅れが生じ、当初予定していた一次避難地面積を計画期間中に確保することができなかった。		
		最終実績値	0.1ha				
	指標②（長寿命化計画の見直しを行った割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		他事業で緊急を要する箇所があり、長寿命化計画の見直しをH27年度以降に見送ったため。	
		最終実績値	0%				
	指標③（都市公園施設の更新が完了した割合）	最終目標値	4.6%	目標値と実績値に差が出た要因			当初更新予定としていた公園施設以外に、緊急を要する施設の更新を追加で行ったため。
		最終実績値	6.7%				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 東本通地区公園の整備を行うことにより、周辺住民へ遊び・憩いの場を提供することが可能となった。また、公園周辺には戸建て住宅が建築され、地域の活性化にも繋がった。 三原運動公園の施設更新を重点的に行ったことにより、施設の充実度が高まり、平成27年度には広島県高校野球大会の会場に再選されたことに加え、プロ野球2軍戦等が開催され、公園利用者の増加等に大きく寄与する結果となった。 					
3. 特記事項（今後の方針等）							
<p>今後は、長寿命化計画の見直しを適宜行いながら、長寿命化計画に沿った公園施設の種類に応じた日常点検・定期点検を行い、公園利用者の安全と利便性を確保するよう適切な維持管理に努めると共に、予算執行の平準化を図りながら計画的な補修・改修及び更新を実施し、施設の延命化によるライフサイクルコストの縮減に努める。</p> <p>また、都市公園事業（東本通8号公園）については、早期の整備に努め、地域防災計画に位置づける。</p>							